

NPO 法人環境市民 理事会 第7期 第2回(通算66回)理事会 議事録(簡易版)

(a)日時及び場所

日時:2014年3月31日(月)9:30~11:30

場所:環境市民京都事務局(京都市中京区麩屋町二条下る第二ふや町ビル 405)

(b)理事の総数

10人(うち定足数10人)

(c)出席した理事の氏名(以下、敬称略)

上田正幸、風岡宗人、下村委津子、杵本育生、牧村好貢、以上5人。

特定非営利活動法人環境市民定款第40条第1項の規定により表決権を行使した理事は次の通り。

在間敬子、竺文彦、白石克孝、西村仁志、花田真理子、以上5人。

同定款第38条の規定により定足数(理事総数の2/3)を満たし、開会した。

(e)議長 上田正幸氏を指名

(f)議事録署名人 風岡宗人、下村委津子を選任

(g)議事録作成者 有川真理子

(h)その他出席者 事務局:小出廣行、有川真理子、

(i)付議した事項

(報告事項)

- 1) 主な活動報告(事前のメールでの報告で代える)
- 2) 緊急寄付キャンペーン報告
- 3) 2013年度事業報告、決算予測

(討議事項)

- 1) ファンドレイジングタスク報告、方向性
- 2) 理事の退任と新任
- 3) 次年度の事業、財務の方向性について

以下詳細

(報告事項)

1) 主な活動報告(事前のメールでの報告で代える)

2) 緊急寄付キャンペーン報告

緊急寄付キャンペーン実施の結果(3月31日現在、最終金額は約266万円の見込み。目標金額の83%を達成)と分析速報を共有した。会員理事、賛同人以外の方からの寄付も約3割あり、あらたな人達に支えていただく機会になったことや、会員など支援者とのコミュニケーションの機会になったことが共有された。

3) 2013年度事業報告(資料2)、決算予測(資料3)

3-1)2013年度事業報告

2013年度の事業概要について報告を行った。大学生に対するボランティア募集のPRを強化、工夫した方がいいのではないか、という意見が出された。

3-2)2013年度決算予測

2013年度の決算予測を報告した。特に、マガジン関係の出入金や会費管理について確認を行った。

(討議・審議事項)

1) ファンドレイジングタスク報告、方向性

Panasonic NPOサポート ファンドから助成金を得て実施しているファンドレイジング戦略立案タスクフォースの会議を2回開催したこと、緊急寄付キャンペーンの他、書き損じハガキや切手の寄付などの募集を行っていることなどを情報共有した。

2) 理事の退任と新任

西原敏明理事の退任を報告した後、今後、新たに加わっていただきたい理事の候補を確認した。

3) 次年度の事業(資料5)、財務の方向性について

次年度の事業計画概要の説明を行った後、グリーンコンシューマープロジェクトなど主な事業について説明を行った。理事からは、環境マイスター事業を通して会員拡大をはかるアイデアや活用できそうな助成金情報などが提供された。

<会員数>2013年11月2日~2014年3月26日まで

個人 527人(休会6人含む)/団体 13団体(営利4、非営利9)

・入会者数 21(13)

・退会者数(意思表示があったもののみ)4(9) ※()は昨年度同時期実績

ただし、2013年末に会費期限が切れ、まだ更新のない人が97人います。これらの人たちに更新していただく働きかけが必要です。

■前回 11/2 会員数 計 520

(内訳)

個人 356 シニア・学生 81 ペア 30

ファミリー 8 助成 15 終身 18

営利団体 4 非営利団体 8

2013年4月1日~11月2日までの入会者数 22(26)

2013年4月1日~11月2日までの退会者数(意思表示があったもののみ)9(51)

※()は昨年実績。退会者数が多いのは意思表示がない期限切れ会員が入っているため。

以上